

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「E X E－i 新興国株式ファンド」は、2026年5月12日に第13期決算を行いました。

当ファンドは、主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、新興国の株式へ実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

E X E－i 新興国株式 ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第13期（決算日2026年5月12日）

作成対象期間（2025年5月13日～2026年5月12日）

第13期末（2026年5月12日）

基準価額	29,658円
純資産総額	31,998百万円
第13期	
騰落率	43.4%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記SBIアセットマネジメントのURLにアクセス
⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

 **SBI Asset Management**

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

SBIアセットマネジメント
URL:<https://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2025年5月13日～2026年5月12日)



期 首：20,676円

期 末：29,658円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率： 43.4%

(注1) 参考指標はFTSE・エマージング・インデックス (米ドルベース) をもとに委託会社で円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注2) 参考指標は、2025年5月12日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ 堅調な半導体関連需要
- ・ 中国の財政政策への期待
- ・ 米連邦準備制度理事会 (FRB) の利下げ期待
- ・ 各国と米国の間の貿易協議進展期待

下落要因

- ・ 原油価格の上昇と供給制約の長期化懸念
- ・ 中東情勢悪化に伴うリスク回避姿勢
- ・ FRB利下げ観測の後退
- ・ 米関税による世界景気への悪影響
- ・ AI関連投資の過熱感への警戒
- ・ 米中貿易摩擦の再燃

1万口当たりの費用明細

(2025年5月13日～2026年5月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	24	0.095	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(8)	(0.031)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.042)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(ー)	(ー)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投 資 信 託 証 券)	(ー)	(ー)	
(d) そ の 他 費 用	3	0.011	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(1)	(0.004)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	27	0.106	
期中の平均基準価額は、25,254円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

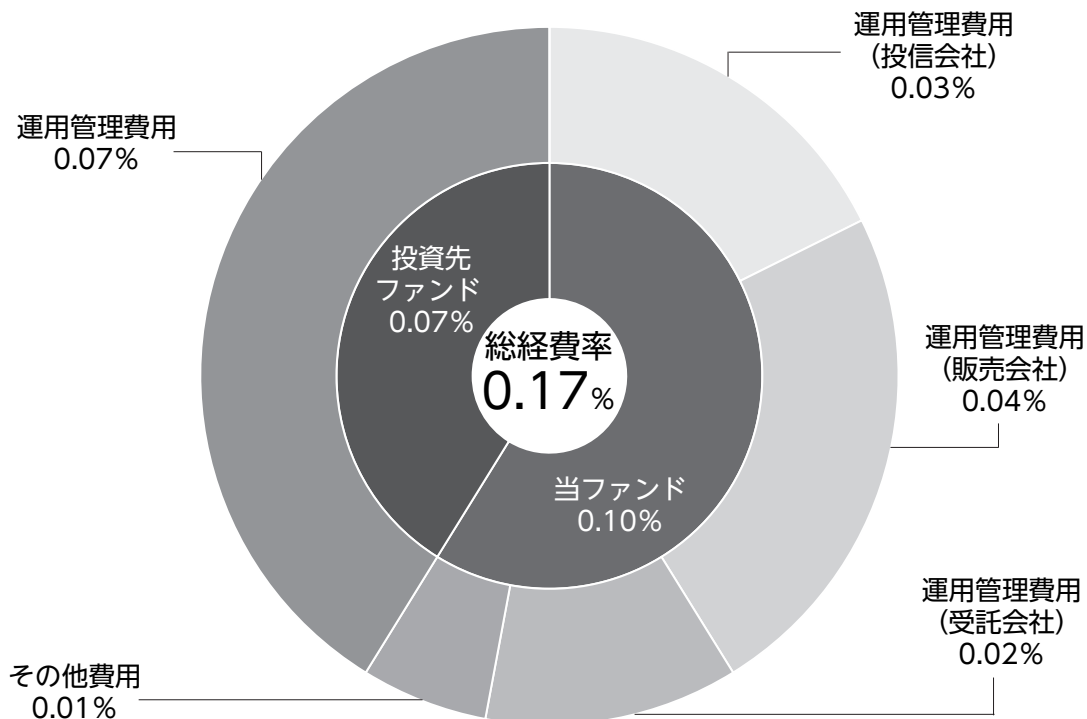
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.17%です。



総経費率 (①+②)	0.17%
①当ファンドの費用の比率	0.10%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.07%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費用の比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

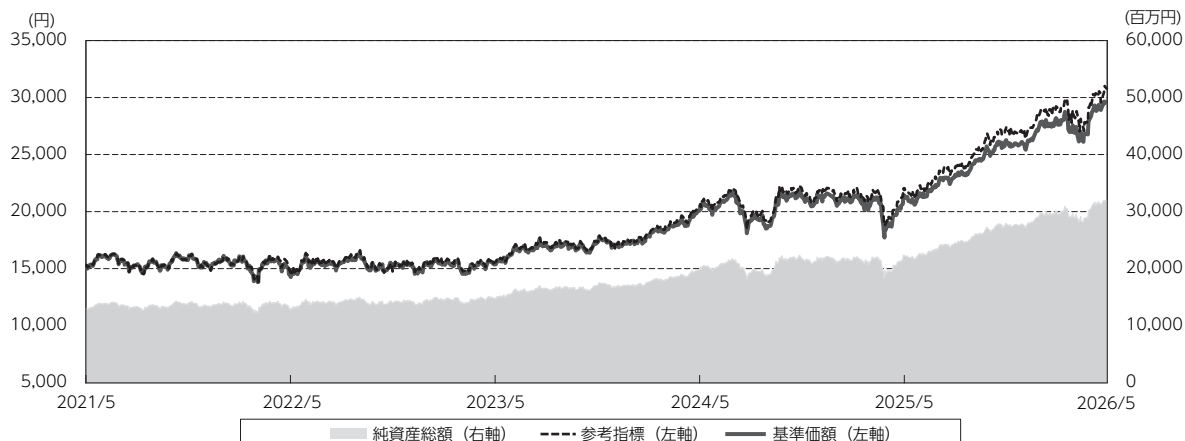
(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年5月12日～2026年5月12日)



(注1) 参考指標はFTSE・エマージング・インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社で円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2021年5月12日 決算日	2022年5月12日 決算日	2023年5月12日 決算日	2024年5月13日 決算日	2025年5月12日 決算日	2026年5月12日 決算日
基準価額 (円)	15,287	14,444	15,375	20,078	20,676	29,658
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△5.5	6.4	30.6	3.0	43.4
参考指標騰落率 (%)	—	△2.9	4.4	31.6	4.5	44.4
純資産総額 (百万円)	13,049	12,925	14,763	19,821	21,560	31,998

(注1) 参考指標はFTSE・エマージング・インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社で円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注2) 参考指標は、2021年5月12日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注4) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

(2025年5月13日～2026年5月12日)

<新興国株式市場>

2025年5月から2026年5月までの新興国株式市場は概ね上昇基調ながら、トランプ政権の政策および中東での紛争に大きく左右されました。

当期がスタートした2025年5月下旬は、中国以外の新興国からは米国との貿易協定の話が聞かれないうち下落しましたが、6～7月中旬は中東情勢の悪化に伴いリスク回避の動きがみられた時期があったものの、米中貿易協議の進展期待が高まる中、ハイテク株主導で大幅高となり、その後特にTSMCの好決算や中国向けAI半導体の輸出再開表明が相場をけん引しました。7月下旬になると、インドやブラジルなどへの関税措置は相対的に厳しい内容になるとの懸念から、一時下落しました。8月はインド関税懸念で引き続き伸び悩む局面がありながらもハイテク株の押上がりがあり小幅高となりました。9～10月はFRB利下げ観測や中国でのAI関連開発への期待、米中貿易交渉期待から大きく上昇しました。11月はそれまで買われてきたAI関連銘柄を巡る過熱感が警戒される中、ハイテク株の売りが進んだほか、低調な中国経済指標の発表や米国利下げ観測後退で小幅安となりましたが、12月はAI半導体の対中輸出の許可が好感されたほか米ハイテク大手が中国向けにAI半導体を出荷できる見通しになったことを受け反発しました。2026年に入り1月は半導体需要期待で上昇した後TSMCの好決算が好感され上昇しました。2月は中国政府による追加刺激策への期待やインドと米国の貿易暫定合意などが買いの材料となりました。しかし3月は米国とイスラエルによるイランへの軍事行動を受け、原油高から中東依存度の高いアジア諸国を中心に、大幅に下落しました。4月には米国とイランによる短期間の停戦合意や中国GDPの上振れを受けて急反発、当期における最大の月間上昇率となりました。5月上旬もその勢いは続き中国ハイテク株や台湾株が上昇しました。

<外国為替市場>

期初ドル／円レートは147円台後半で始まりしました。2025年5月中旬以降の米ドル円は、米下院の減税法案可決による財政赤字拡大懸念や関税を巡る不透明感や一部関税の違憲判決など関税を巡る不透明感が高まる中一進一退となりました。6月は概ね横ばいで、弱い米物価指標を受け低下する一方、中東情勢緊迫化による「有事のドル買い」で底堅く推移した後、停戦期待やFRB高官のハト派発言で再び低下しました。7月は良好な雇用統計を受けた利下げ観測後退から上昇し、月末はFRB議長の後任人事をめぐる不透明感で一時軟化も日米貿易合意で反発しましたが、8月にはその勢いは続かず、弱い雇用指標やジャクソンホールでのFRB議長の利下げ示唆で小幅反落となりました。9月は一時下落後、米連邦公開市場委員会（FOMC）での利下げへの慎重姿勢を受け反発し149円台へ上昇しました。10～11月は米長期金利の高止まりや日本での高市政権発足を背景にFOMC議事要旨で利下げ不要と判断されたことが公表されるとドル高が進み、157円台まで上昇しましたが、12月末にはFRB議長の予想外のハト派姿勢を受け反落しました。2026年1月は、衆院選に向けた財政拡張志向に対する懸念から円安基調で推移しましたが、23日の米当局によるレートチェックを契機に為替介入警戒が強まり、158円台から一時152円台へ急速な円高が進行しました。2月は自民党勝利による財政拡張懸念から一時157円台まで円安が進んだ後、再度152円台まで円高となったものの、米利下げ期待後退や国内の利上げ消極姿勢を背景に156円台まで円安が進行しました。3月は中東情勢緊迫化による「有事のドル買い」でドルが強含み、介入警戒下ながら160円に接近の展開になりましたが、4月に入ると停戦期待で上昇一服となりました。FOMC後に一時160円台へ上昇したものの、月末は為替介入と思われるオペレーションが入り155円台へ急落しました。その後5月初旬にかけて複数回の介入が入ったと見られており、戻るとしても157円台までの推移が続きました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年5月13日～2026年5月12日)

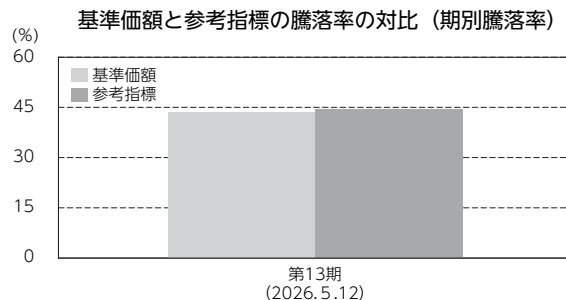
ウエルスアドバイザー株式会社の投資助言に基づいた基本投資割合に従い、海外のETF（上場投資信託）への投資を通じて、新興国の株式へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95%以上の高位を保ちました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年5月13日～2026年5月12日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドの基準価額は43.4%の上昇となり、参考指標としているFTSE・エマージング・インデックス（円換算ベース）の44.4%の上昇を1.0%下回りました。



(注) 参考指標はFTSE・エマージング・インデックス（円換算ベース）を使用しています。
詳細はP12をご参照ください。

分配金

(2025年5月13日～2026年5月12日)

当期の収益分配は、運用の効率性を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第13期
	2025年5月13日～ 2026年5月12日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	20,898

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、新興国の株式へ実質的に投資し、新興国の株式市場の値動きと同等の投資成果をめざします。当ファンドの運用にあたっては、ウエルスアドバイザー株式会社の投資助言を受け、原則として年1回基本投資割合の見直しを行います。

お知らせ

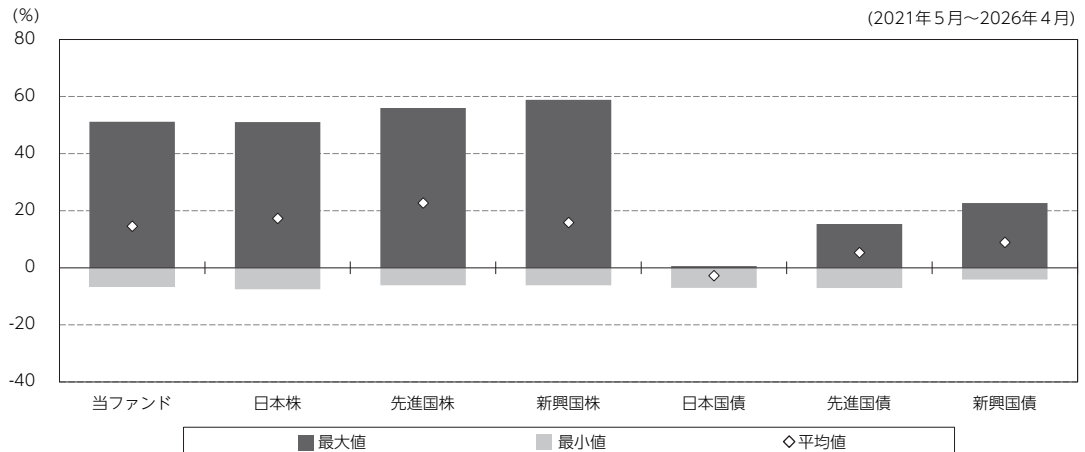
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	無期限（2013年5月13日設定）
運 用 方 針	・ 主として新興国の株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。 ・ 参考指標は、FTSE・エマージング・インデックス（円換算ベース）とします。（2026年5月12日現在） ・ 市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として3カ月に1回、基本投資割合へ戻す調整を行います。 ・ 基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経費率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として1年に1回行います。 ・ 当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。 ・ 当ファンドの運用にあたっては、「ウエルスアドバイザー株式会社」の投資助言を受けます。
主 要 投 資 対 象	主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、新興国の株式へ実質的に投資します。
運 用 方 法	主として新興国の株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分 配 方 針	毎決算時（年1回毎年5月12日。休業日の場合は翌営業日とします。）に、分配方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	51.2	51.0	55.9	58.8	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 6.5	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 7.0	△ 7.1	△ 4.1
平均値	14.5	17.3	22.7	15.8	△ 2.8	5.3	8.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2021年5月から2026年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2026年5月12日現在)

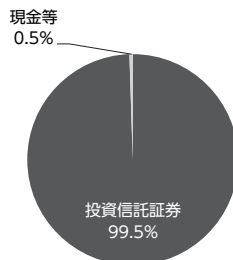
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第13期末
State Street SPDR ポートフォリオ 新興国株式 ETF	% 94.5
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	5.0
組入銘柄数	2 銘柄

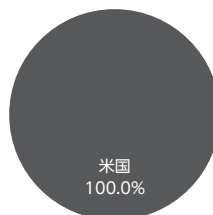
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

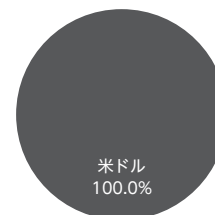
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入投資信託証券評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。

純資産等

項 目	第13期末
	2026年5月12日
純 資 産 総 額	31,998,184,076円
受 益 権 総 口 数	10,789,068,996口
1万口当たり基準価額	29,658円

(注) 期中における追加設定元本額は1,504,022,322円、同解約元本額は1,142,777,476円です。

組入上位ファンドの概要

State Street SPDR ポートフォリオ 新興国株式 ETF

【基準価額の推移】



【組入上位10銘柄】

(2026年3月末現在)

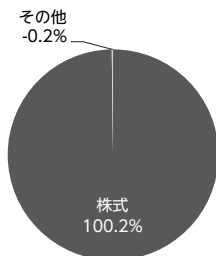
	銘柄名	比率
		%
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	12.0
2	TENCENT HOLDINGS LTD	3.5
3	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	2.6
4	RELIANCE INDS SPONS GDR 144A	1.0
5	CHINA CONSTRUCTION BANK H	1.0
6	DELTA ELECTRONICS INC	0.9
7	HDFC BANK LIMITED	0.8
8	MEDIATEK INC	0.8
9	HON HAI PRECISION INDUSTRY	0.8
10	ICICI BANK LTD SPON ADR	0.7
組入銘柄数		2,986銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

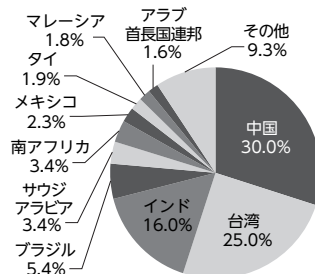
【1万口当たりの費用明細】

入手可能な1万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

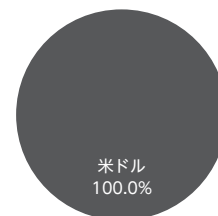
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月31日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

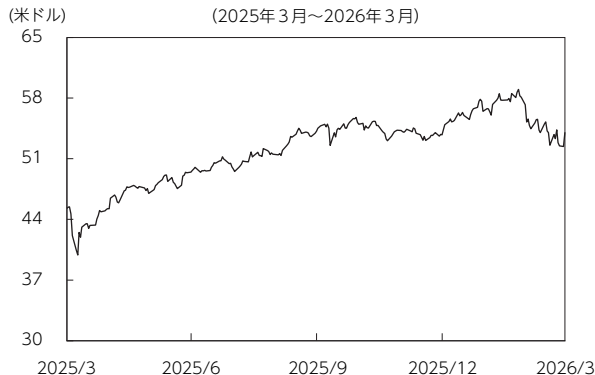
(注4) 国別配分は投資国を表示しております。

※Bloomberg及びState Street Global Advisorsのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

バンガード・FTSE・エマージング・マーケット ETF

【基準価額の推移】

(2025年3月～2026年3月)



【組入上位10銘柄】

(2026年3月末現在)

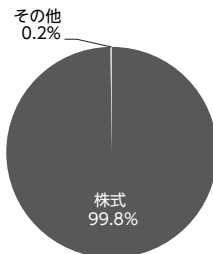
	銘柄名	比率
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	13.3%
2	Tencent Holdings Ltd.	3.7%
3	Alibaba Group Holding Ltd.	2.7%
4	Reliance Industries Ltd.	0.9%
5	China Construction Bank Corp.	0.9%
6	HDFC Bank Ltd.	0.8%
7	Delta Electronics Inc.	0.8%
8	Petroleo Brasileiro SA - Petrobras	0.8%
9	PDD Holdings Inc.	0.7%
10	Industrial & Commercial Bank of China Ltd.	0.7%
組入銘柄数		6,355銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

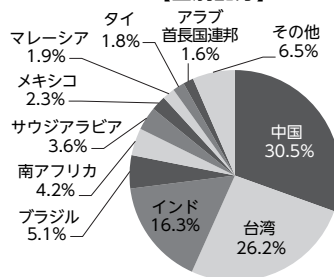
【1万口当たりの費用明細】

入手可能な1万口当たりの費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

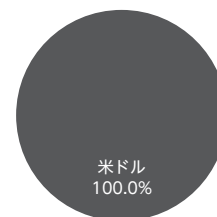
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2026年3月31日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は株式評価額に対する比率です。

(注4) 国別配分は投資国を表示しております。

※Bloomberg及びThe Vanguard Group, Inc.のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

＜当ファンドの参考指標について＞

参考指標はFTSE・エマージング・インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社で円換算しています。

○FTSE・エマージング・インデックス

FTSE・エマージング・インデックスとは、FTSE社が開発した指数で新興国株式市場全体の動きを表す株価指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

〈各指数の概要〉

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。